



## 2020年(令和2年)3月度 理事会 議事録

【日時】 2020年3月21日(土) 9:30開始 - 12:20終了

【場所】 ZoomによるWeb会議

【出席者】 Zoom 計13名

理事:森山、小口、西久保、藤村、森口、稲葉、奥野、川瀬、義本、太田、監事:植村、土屋

オブザーバー:川村

【欠席者】 なし

### 【審議開始準備】

- ・ 議事進行者、書記、議事確認者を議長より指名 書記:稲葉、承認者:森山、小口、西久保
- ・ 前回までの理事会からの宿題事項確認 … 各審議事項、報告事項の中で対応

### 【審議事項】(審議希望事項と提議者・部会名を記載のこと)

#### 1. 会員数推移(会員:小口) … Shiryo-S01

1月度理事会後 PE180名 PEN68名 FE64名 AF27名 ST10名 合計349名

3月度理事会後 PE181名 PEN72名 FE63名 AF30名 ST10名 合計356名

本年度末での退会者予定と年会費2年間未納で資格失効の恐れのある方を考慮すると本年度末で約340名と予想される。

-ある退会者のコメント中には、現会員を対象とした活動の不足があったように記憶する。〈土屋監事〉

-当該会員とは会員へのサポート(PE資格活用)について話をした。〈川村会員〉

-退会理由は、年齢的なものであり、コメントとして現PEへの情報提供強化についての記載があった。シニア会員への打診もしたが、退会という結論であった。〈小口理事〉

#### 2. 録画セミナーの理解度テストについて(教育・太田) … Shiryo-S02

録画セミナーの理解度テスト用ソフトについて教育部会内で協議した。市販ソフト2種類、Googleフォーム、現ウェブサイトのプラグイン、Survey Monkeyの5つを比較し、Survey MonkeyとGoogleフォームが操作性に優れており最終候補に残った。Survey Monkeyは年間の使用料が約7万円であるのに対しGoogleフォームはGoogleアカウントがあれば無料で利用できる(ただし、テスト作成時に使用するGoogleアカウントがそのテストの「オーナー」として固定され、また、JSPEのサイトにテストを直接貼り付けることはできず外部のサイトに移動しないとけないといった不自由な面もある)。Survey Monkeyを教育部会以外の部会が来年度も使用するのであればついでに使わせてもらうことを考えていたが、他の部会が使わないのであればGoogleフォームで理解度テスト作成を開始する予定。

理解度テストに合格した者に対し自動でCPD証PDFのダウンロードリンク先を提示することもできるかもしれないが、日付の入っていないCPD証を配布してよいものか、また録画セミナーと理解度テストの名称についてもそれぞれ他にWebinar、Quizといった呼び名があるが、どの呼び名がよいかを審議した。その結果、次の通り。

-Survey Monkeyの継続について、値上げとgoogleフォームで代用可能なことから、継続不要となった。

-CPD証は、手作業になるであろうが、日付を記入して配布することから始める。またPMIの監査にも関わするため、CPD証内にJSPEの要領に沿っている旨を記載する。〈川村会員アドバイス〉

-PMIのREP登録継続の監査にも関わり、CPD証内のどこかにJSPEの要領に沿っている旨を記載した方がよい。〈川村会員〉

-名称について、日本語の呼び名は「録画セミナー・理解度テスト」、CPD証に記載する「On Demand Seminar」・「CPD Quiz」(仮)とする。



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

-土屋監事より、「大規模アンケートの集計データファイルのダウンロードなども、google フォームであれば、無料でできるのか」という質問について、太田理事より、無料で実施できる旨の回答があった。

### 3. 2020 年度活動計画案

#### 3-1. 会員部会

・延期になった 2019 年度の受験登録相談会を 7 月ごろまでに実施したい。また 2020 年度分として来年 3 月に予定。後掲で報告の通り PE 登録助言活動の要領の見直しを予定している。

-ただし、新型コロナウイルスで現状見通しが立たないので、代替日は保留とした。

-3 月の受験登録相談会は、コロナウイルス問題で、当面開催できそうになく、何らかの対策が必要。代案として、毎回使う相談会資料を希望会員に送ることが挙げられた。〈川村会員〉

・人数の集まり次第だが、関東、関西以外での会員交流会も実施したい。

-以前、北関東と九州で交流会を行ったが、人数が集まらなかったと記憶している。ニーズの把握をした方が良い。〈森山会長〉

・シニア会員制度を開始したが、今のところ申し込みはない。登録助言活動も支援者の増加が望まれる。WEB やセミナーなどの機会にアナウンスを行いたい。

-支援を受けたものが今後、支援する側に回ることが望まれるので、支援申し込みの段階で、セミナー講師の実施、支援者になる旨の通知を行う案が挙げられた。

・シニア会員制度が立ち上がり、マガジンで広報したが、まだ対象会員からの反応はない。

-川村会員より、マガジンだけではなく、メールでの通知も必要とコメントがあった。

#### 3-2. 会計部会

これまでと同じく、紺野税理士様への業務委嘱(年間約 24 万円)を予定。

#### 3-3. 教育部会

FY2020 のイベントカレンダーを作成。セミナー、見学会等の内容・回数は例年通りであるが、3 月と 4 月のイベントは新型コロナウイルスの状況によって実施・延期を判断する。

-JSPE 総会でも時々、挙げられるテーマとして、倫理がある。〈植村監事〉

-昨年まで、倫理をテーマにした内容を行っていたが、最近、扱っていない。教育部会として、念頭に置いてもらいたい。〈森山会長〉

-昨年、鬼金セミナーの中で NSPE コードに関するセミナーを扱った。そのような内容で倫理に関するセミナーを行うことができる。〈川村会員〉

#### 3-4. 広報部会

以下 3 点をテーマに活動を行う予定

・過去マガジンの情報整理

・英語サイトの充実

・webinar 環境の構築(会員が有償で過去セミナーから CPD を入手できるシステムの構築)

-意見など特になし。

### 4. 20 周年企画について(渉外部会:義本) Shiryo-S04

JSPE 設立 20 周年に当たり、これからの JSPE のあるべき姿を示す以下の企画を実行することとしたい

(1) Mission の再定義: 会員による WG メンバーを立上げ、JSPE の存在意味、活動の方向性、社会活動の実践について提言する。

(2) Vision の共有: 総会第 2 部でのパネルディスカッションを実施する。

(3) 20 周年記念冊子の発行: 編集 WG を募集する。



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

〈森山会長〉

- ・WGメンバーについて、若手 PE 会員中心にしたいと考えているが、PEN 会員も入れた方がよい。
- ・年齢構成として、高齢の方もいるので、その方々の興味も入るようにしたい。
- ・冊子作製について、JSPE マガジンのメンバーにも入ってもらった方が、編集面で効率が良いと思われる。
- 構成メンバーについては、年齢の分布を見てから判断した方がよい。〈小口理事〉
- 総会でパネルディスカッションを行うのは良いと思う。通常は、講師を呼んで講演をお願いしている形式であるが、節目の年で良い試みだと思う。〈植村監事〉
- 懸念事項として、コロナの影響があり、外部講師を頼むと、スケジュールリングなどが大変なので、内部で計画しておくのは良いと思われる。〈土屋監事〉
- 1年前から仕組みとしては立ち上がっているメール大喜利を使って、「PE 資格活用提言」の有志会員間意見交換をすぐにでも始めたい。退会者から聞かれる「JSPE は資格取得後の活用が弱い」といった意見への対応ともなる。〈川村会員〉

#### 5. NSPE の会費倍増に対する JSPE の対応について(渉外部会:義本)

2019 年 1 月から倍増された NSPE の会費(\$299)については、現時点においても NSPE の迅速な対応が見込めない状況であるが、NSPE に対しては粘り強く値下げの要望を行っていくこととしたい。したがって、JSPE にとって(10 名以上の JSPE-NSPE 会員が必要と明記されるような)不利となる JSPE-NSPE 協定の改定は現時点では行わず、当面現協定を維持することとしたい。

-川村会員からの 1 月 24 日 NSPE BOD(理事会)自主参加レポートによれば、次のような新たな動きもでてきたということである。

- ・NSPE 側は新たな州協会モデル(New Membership Business Model)に合意しないいくつかの州協会への対応等に追われており、海外居住というだけで JSPE 会員を特別扱いとはできない模様
- ・一方、これまで JSPE が affiliation 協定の趣旨を踏まえて NSPE との協力関係維持に努めてきた実績は理解されている。海外居住というだけでは特別扱いできないが、JSPE という団体を新協定等で特別な扱いとすることは、2020 年 8 月の NSPE 総会に何らかの新提案を行えば各州協会の了解も得られるかもしれないとの意思が暗示された。
- ・\$299 を払っている JSPE 会員の多くがいずれの州協会にも加入できていないという事実を川村から NSPE 理事会に伝え、この問題も認識された。  
(以下の報告事項 5. の内容)

これについて、JSPE として、

- ・広報部会にて、日本在住の NSPE 会員の会費の扱いの JSPE として、以下 2 案選択できるように NSPE 側へ対応を行っている旨を、会員にメールもしくはマガジンで通知する。
  - ① \$299 を支払って、どこかの州協会に会員登録させてもらうか
  - ② 今までの \$154 で海外会員の扱いにしてもらうか
- ・渉外部会にて、NSPE に上記状況の確認・督促を送り続ける。3 月 25 日頃に、3 月 17 日実施の NSPE 理事会の議事録が挙げられるので、その確認後が良いと思われる。

以下、理事会中に挙げたコメントを記す。

〈小口理事〉

3 月 5 日付けで、NSPE より、5 月 31 日までの会費の支払いのメールが届いた。5 月 31 日までに、会費について結論が出る見通しはないので払うつもりではあるが、州協会に入りたい希望がある旨は伝える。

〈義本理事〉

会費の扱いには 2 通りあり、\$299 を支払って州協会に会員登録させてもらうか、今までの \$154 で国際会員の扱いにしてもらうかのオプション選択の要求で十分のように思える。



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

-川村会員から報告のあった 1 月渡米費用については、理事会での賛成多数により、予算外となるが、成果を考慮し補助を支給することを決定。支給額は残予算との兼ね合いで渉外部会が決定する。

-また、川村会員より、JSPE 会員の NSPE 派遣の際には、HOD 翌日の BOD にも出席し、意見の発言・主張してもらいたい旨、コメントがあった。

以下、理事会中に挙げたコメントを記す。

〈義本理事〉

NSPE 訪問時の渡航費用について、JSPE として全額の捻出はしづらい。

〈小口理事〉

予算状況や会員への説明性も考慮の必要あるが一部補助ではどうか。

〈西久保理事〉

話を付けていただいたということもあるので、補助としての一部負担が妥当とし、予算の残額に応じて、負担額を決定する。

〈植村監事〉

NSPE 総会への渡航は選考手順が踏まれている。自己負担が妥当だと考えられる。

〈土屋監事〉

予算外支出の事後承認ということもあり、一般会員にも説明が付き、他の事例との整合性を図かり、慎重に判断する必要があると考えられる。

#### 6. NSPE 会長の来日スケジュールについて(渉外部会:義本) Shiryo-S06

2020 年 6 月の JSPE 総会のため来日する NSPE 会長のスケジュールについて、総会前後の JSPE の行事案(6/4-6/6)を 2020 年 2 月 24 日に NSPE に回答した。

#### 7. 会計状況(会計:小口) Shiryo-S07

12 月末時点の予算執行状況は Shiryo-S07 資料の通り。

-紺野税理士からのヒアリングでは、現行の会計システムには部会ごとの集計機能があるとのことであった。〈土屋監事〉

-川村会員が理事の時に、部会ごとの集計を行っていたが、理事からの会計報告に部会情報が入っておらず、分類がなされておらず、部会ごとの集計を辞めた経緯があった。〈川村会員〉

-紺野税理士事務所の方と相談して部会別集計機能を復活するかどうか、契約範囲の話にもなるので、小口理事が同事務所と打合せして確認する。

#### 8. PE/FE 受験登録相談会(会員:小口)

3 月 28 日の相談会は新型コロナウイルス感染対策で延期とした。急ぎの相談には可能な限り対応する。3 月 28 日予定していた会場でも少人数で相談への対応可能であるが、面談での相談者がなければキャンセルする。延期後に日程については次の通りとした。

-延期後の日程の見通しが立たないので、保留。

-教育部会にて、個別相談会の申し込み日程が 3/22 までで、その申し込み状況を見て、会場キャンセル・時間帯変更を行う。



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

#### 9. NSPE における検討着手状況のフォロー(川村会員)

報告事項 5.の通り、NSPE 側での対策検討着手は了解されたが、3/13 現在その後の進捗状況が NSPE から連絡なく、川村会員からゴールデン事務局長に対し、状況を教えてもらうよう依頼している(森山会長ほかには転送済)。理事会においても、NSPE から新提案があった場合の対処準備などについて行いたい。

-審議事項 5.に集約。

#### 10. ウェブサイト記載に関する諸気付き事項(川村会員) Shiryo-S10

JSPE サイトの現記載を眺めると、窓口が前会長のままであったり、役員の実名が現れていないなどの気付きがあるので、気付き事項をまとめた。可能なところから、改善、修正を検討頂きたい。あわせて JPEC ウェブサイト記載への気付き事項もまとめた。

-役員の実名を記載することについて、特に反対なく、修正する。

-JPEC 殿が PE 受験者に提出要求を続けている業務経歴書について、JPEC ウェブサイト上の「重要なお知らせ:受験委業務経歴が不要に」との記載と整合しない。メンタリング活動にて、会員から問い合わせがあり対応に苦慮している。趣旨・裏付けの確認を行ってほしい。〈川村会員〉

-これに関連して 2 月 15 日の JPEC 殿との連絡会の結果を報告した。連絡会で確認したが、NCEES との協定の条件として求められているとのことである。その協定の改訂がいるはずなので次回連絡会で依頼する。〈小口理事〉

#### 11. PMI REP 継続可否について(川村会員) Shiryo-S11

JSPE が毎年約 15 万円を PMI に支払うことにより維持している REP 認定について、3 月 3 日付で認定制度の刷新、登録費用の大幅値上げ(15 万円→50 万円超)を行うとの通知が PMI より rep@jspe.org に対してあった。これに関する川村会員の分析状況と、対応案が示されたので審議した。

-REP 登録を継続しない。

-鬼金の元々の趣旨がプロジェクトマネジメントの教育であり、PDU の取得。PMI の今回の新システムはそれ。また、REP 登録コースでなくても、PMI への PDU 登録は可能。

-PMP 受験の条件となる必要受講時間を提供するためには、新 REP 認定が条件であるかどうかは定かでない。これを安価に提供できることが鬼金のオリジナル目的だったこともあり、新規受験希望者には事前の明確な説明が必須。

-教育部会にて、REP のメンバーに投げかける。今回の説明資料の使用については、川村会員より使用許可を頂いた。

### 【報告事項】

#### 1. JSPE マガジン作成状況と、PE ライセンス更新についての寄稿依頼(広報部会・西久保、川瀬) Shiryo-H01

(1)4/1 発行のマガジン春号(vol.49)は目次案に沿って進めており、原稿提供者・編集予定者の状況を確認した。

(2)これまで PE 受験合格ならびに PE 登録体験記については会員に寄稿をしていただいていたが、広報部会で過去 JSPE の記事のアーカイブ化を進めている中で、これから PE を目指す会員にとっては PE ライセンスの更新情報も有益であり、最近のオレゴン州のライセンス更新連絡の問題も生じている。このことから会員への情報提供の一環として、まずは JSPE 役員最近の PE 更新の体験記を寄稿していただきたくご協力をお願いします。記載数は毎号1、2件の予定。



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

2. 4月開催予定の関東技術 CPD セミナーについて(教育・太田)

4/18(土)に関東技術 CPD セミナーを開催する予定だったが 10 月に延期する。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い社員に集会等への参加を禁止・自粛要請する会社が多く、4/18 時点でどのような状況になっているかは不明だが、講演依頼等の準備も整わないと判断した。

3. CPD セミナー実施報告(教育部会・太田)

- 1/25 (土) 関東技術 CPD セミナー (東京 8 名、Web5 名)
- 2/8 (土) 第 5 回鬼金セミナー (東京 10 名、神戸 11 名、Web1 名)
- 2/19 (水) 第 4 回エンジニアズサロン (東京 5 名)
- 2/22 (土) 関東技術施設見学会 (東京 8 名)
- 延期 3/7 (土) 第 6 回鬼金セミナー
- 延期 3/18 (水) 第 5 回エンジニアズサロン

4. PE 登録助言活動(会員・小口) Shiryo-H04

PE 登録助言活動のシラバス翻訳証明については一定の依頼があり対応しているが、要領を見直す。主な変更点は、NCEES 学歴評価例の提示を有償で行うことに対する説明と注意事項の追加である。おってウエブサイトへ掲示をする。

-PE 登録助言活動(メンタリング活動)の回転が今一つ思わしくなく、改善案をメンター内で検討中。  
(川村会員)

5. NSPE BOD 出席報告および会計報告(川村会員) Shiryo-H05

1 月 24、25 日に米国アレキサンドリア市で行われた NSPE 理事会に affiliation 協定を持つ JSPE の前会長という立場で出席を認めてもらい、協定の趣旨を守る上でも 2018 年以降適用されるようになった、倍額会費の問題および倍額会費を払っても希望する州協会になかなか加入できない問題を早急に解決する必要があることを訴えた。訴えの切迫性は NSPE 理事に理解され、6 月のマティーニ会長来日時、何らかの解決策前進を見ることができるよう NSPE 側で検討着手されることとなった。

(資料: History of Partnership between NSPE and JSPE (TK20-002 川村会員の NSPE へのプレゼン資料)、出張報告(TK20-003))

なお、川村会員がこの BOD 出席に要した旅費、宿泊費は計約 23 万円であった。

-上記の審議事項 5 にて、理事会での賛成多数により、予算外となるが、成果を考慮し補助を支給することを決定。支給額は残予算との兼ね合いで渉外部会が決定する。

6.その他

-JSPE 総会が 6 月に控えており、来年度の予算編成、事業報告書の準備が必要。段取りの打合せなどもあるため、必要であれば、5 月の理事会を待たず、4 月に臨時で理事会を開いた方が良い。〈植村監事・土屋監事〉

-事業報告書の作成をゴールデンウィーク明けくらいから行う予定。協力をお願いする。〈西久保理事〉

【次回理事会予定】 5 月 9 日(土) 9:30~

【議事承認印】

承認	森山 亮	
承認	小口 力	
承認	西久保 勇功	
書記	箱葉 光哉	